

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

4月 図書館カレンダー

2026年		April					
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

■休館日：月曜日
◎お話し会：4月11日(土)
午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



図書館本館の休館・臨時窓口開設のお知らせ

霞ヶ浦コミュニティセンターの空調設備等更新工事に伴い、下記の期間、図書館本館は休館します。なお、期間中は施設内の会議室に図書館機能の一部を移し、臨時窓口を開設します。ご利用いただける資料に限りがあるため、皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

◆ 本館休館期間 ◆

4月20日(土)～9月下旬予定

※工事の進捗などにより変更となる場合があります。

◆ 図書館臨時窓口開設 ◆

5月1日(土)～9月中旬予定

※千代田分館・電子図書館は、通常通りご利用いただけます。

【利用できるサービス】

- ◆ 臨時窓口書架の資料・千代田分館所蔵資料・新刊（貸出・予約など）
- ◆ 中央出張所（下稲吉コミュニティセンター）への配送サービス
- ◆ 雑誌、新聞の閲覧（閉架書庫のバックナンバーを除く）
- ◆ 学習スペース・閲覧席
- ◆ 利用者カードの登録、変更、再発行
- ◆ 相互貸借（他館所蔵資料の受取）
- ◆ 県立図書館ぶっくびんの受取、返却
- ◆ ブックポストへの返却
- ◆ 図書のリクエスト申込み
- ◆ 県立図書館の資料返却（遠隔地返却）

【休止するサービス】

- ◆ 本館館内・閉架書庫にある資料の利用（所蔵検索・貸出・閲覧・予約）
- ◆ 図書検索機
- ◆ 視聴覚資料の利用（貸出・館内視聴）
- ◆ 図書除菌機
- ◆ インターネット閲覧用パソコン

☎ 図書館(本館) ☎ 029-897-0647



万葉に思いを馳せる
「師付の田井」
市民学芸員 小菅大康

昨年11月に中志筑を訪れ、御陵衛士（元新選組参謀）の伊東甲子太郎生家跡や、本堂家侍医の金子寿仙宅など諸々の場所を見学した後、「師付の田井」を訪問しました。志筑城跡の南西方向にある閑静な水田地帯にひっそりと石碑が建立されていました。併設された解説看板には「草枕 旅の憂へを慰もる事もありやと 筑波嶺に登りて見れば 尾花ちる 師付の田井に 雁がねも 寒く来鳴きぬ 新治の 鳥羽の 淡海も 秋風に 白波立ちぬ 筑波嶺の よけくを見れば 長きけに 思い積み来し 憂はやみぬ」と記されており、この場所を詠んだ歌が万葉集に掲載されていたことを知りました。その後、何気なく手にした書籍『神々の山 筑波山と万葉集（石井郁子著・臥雲山荘文庫刊）』に「師付の田井」の歌に関するものが掲載されていました。前述の歌は、養老3年(719)に国守として常陸に赴任した藤原宇合に従い常陸に入った「高橋虫麻呂」という方が詠んだものと書か

れていました。内容についても、前半は「旅の悲しい気持ちを慰めようと筑波山に登ってみると、尾花が散る師付の田井に雁もやってきて寒そうに鳴いている」という景観に始まり、後半では「筑波山から見る美しい景色を見て、長い間の悲しい心持ちは静まった」という虫麻呂の情感で結んでいることが分かりました。そして、私もかつて虫麻呂のような気持ちになったことを思い出しました。私は結婚を機に茨城に移住し、初めは土地勘もない上に仲間もおらず、非常に寂しい思いをしたものです。しかし、霞ヶ浦をはじめとする県内の素晴らしい景色や名所・旧跡を訪ね、茨城という土地とふれ合ってきたことで、次第に心安らいで生活できるようになりました。土地にふれ、感動を覚えたことで心が安らぐという体験は、まさに虫麻呂が詠んだ歌に表現されていたものでした。現在の元号「令和」は、万葉集からの引用とされています。ぜひ、令和時代に万葉の面影を残す「師付の田井」を訪れ、美しい古代の景観に思いを馳せてみてください。



「師付の田井」の石碑
写真提供：江川浩士氏

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

人生の 先輩

健康の秘訣をお聞きしました

サロンでの会話が
日々の健康を保つ秘訣



「皆さん、ご機嫌よう」と初めのあいさつをして11年、大塚団地が明るく楽しく元気になって欲しいと「ワイワイ・サロン」を毎週木曜日に開催しています。週替わりでのゴム体操・竹ふみ・シルバーリハビリ体操の指導の後には、お待ちかねのお茶会です。月1回のお楽しみ会では、誕生日ソングでお祝いしたり、笑顔が絶えることのないサロンです。健康寿命を一日でも延ばそうと、体を動かしお口の運動をしています。

月曜日には「茶つと・カフェ」を開催。カラオケ・グランドゴルフ・ベタンク・ゲーム・音楽会などで、楽しい笑い声が公民館に響きます。3月2日「ひな祭り」のイベントではひなあられ菓子と甘酒などを飲みながら歌を歌い、和やかな雰囲気になりました。

サロンで大勢の人と話し笑顔を見ることが、健康維持に繋がり私にとって大きなプレゼントを頂いているようです。たくさんの方に「下駄ばきで参加できる身近なサロン」が当たり前のようになり「かすみがうら市に住んでいて良かった」と多くの方が思うのではないのでしょうか。



まつくら
松庫 おりめさん
大塚団地 行政区

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



☎ 情報広報課(霞ヶ浦庁舎)
☎ 029-897-1111

▲詳細

文芸ひろば 投稿作品

千代田俳句同好会 今日といふ新たな命梅の花 草青む血洗う水ぬるくなり 全力投球スノーボードの宙を舞ふ 春日和焼肉囲む喜寿祝 菜の花に園児の帽子混ざりけり 成行きにゆだねる暮らし下萌ゆる 紫陽花俳句会 観てもよし宴楽しや花の下 風に舞ふ続く花びら夢一夜 うっすらと霞に包まれ花曇り 世紀超え桜大樹は郷の主 出島短歌会 除夜の鐘ひびきいるなり輪王寺テレビのなかに降る牡丹雪 夫と共にやと来ました八十代今日の三時は抹茶に羊羹 先輩の飾り巻きずし食べたる雪のあしたの五人女子会 道渡る亀三匹に会いたれば今日のニュースにデイで語りぬ	投稿作品 大寒の沙羅の樹肌の仄ぬき狭庭に触れて芽吹きを思ふ 初春や木々の芽吹きも見ゆる時山吹き目立つ清き流れに 陽春の光を浴びて芽吹く樹々大地の恵み共に受け継ぐ 満開の梅が香りをまき散らし道行く人の鼻がほころぶ 生きた証十七冊のてらよう記載多し胸熱くなり 背守りが成長見つめるランドセル 臘梅や一人にひとつづつの飴 感染症終わらぬ看病苦かな 下萌や閑東平野動き出し 春暖の桜開花に胸躍る	ナカジマリョウメイ 石塚清 矢口哲雄 飯島すみ子 中村耕二 兼西清治 ながそんさん 竹村啓子 高野新一	岡田恭子 名倉観子 仲谷香代子 薬師寺玲子 島田和子 島田昌男 原田佳世子 藤本管生 飯沼礼子 福田妙子 萩原初枝 中島暉子 鈴木けい子 桜井筑蛙
---	---	---	--

WEBで投稿
できます



投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。4月6日(土)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562)へお願いします。

※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。